

## 2023 年度冬合宿

# 飯豊 西俣尾根～頼母木山～門内岳～北股岳～ 梅花皮小屋～烏帽子岳～くさいぐら尾根下降

2023 年 12 月 29 日～2024 年 1 月 2 日

L.谷嶋、増田(記)

今年の飯豊冬合宿は参加者二名。昨年の松の木尾根のラッセルを思うと、二人ではとても無理だろうと思っていた。(谷嶋さんは独りでも行く気だったようだが…。)それに、私は合宿前に色々と懸念事項があり、出発に漕ぎつけられるかがまず課題であった。しかし、懸念事項は意外な形ですべて解消。これは『行ってこい』ってことだなと思い、しっかりと準備して飯豊へ向かった。

12 月 29 日(金) 曇り時々雨のち雪

3 時半に谷嶋さんをピックアップ。4 時前に高速に乗り、山形を目指す。山形は雨…。下道も長い。梅花皮山荘に着くころには雨は上がっていた。フロントに計画書を提出し、トイレを拝借。駐車場で登山者を見かけたので、その隣に車を停める。新潟山岳会の方々と、西ノ俣峰を目指すとのこと。ラッセル交代しながら行けるかもと期待。ザックに食糧を詰め込み、最後まで酒をどのくらい持っていか悩んだが、なるべく軽い方がよいので、最小限とする。背負ってみれば、昨年より軽いかも？梅花皮山荘から 10 分ほどで除雪終了地点。そこにパトカーと 4 名の警察官。何かあったのかなあとと思ったら、安全登山のしおりとティッシュを渡された。気を付けて行ってらっしゃいということでした。



出発！



急だ

除雪終了地点でスノー

シューを履き、出発！ほとんど潜らないので楽。西俣ノ峰への取りつきは雪が薄く、踏み抜き多く急斜面。一瞬トップを交代しただけで、絶好調の谷嶋さんがガンガン飛ばして登っていく。ついてくのに精いっぱい…。気温も高くハードシェルは着ていられない。大曲り分岐(540m)で一回目の休憩。後ろから新潟散策会の方々も追いつくが、先に出発。時折雨がぱらつくので、暑い仕方がなくハードシェルを着る。谷嶋さんは相変わらず絶好調で、次第に間があいていく…。新潟山岳会の日帰り隊+20 代のチームが追いついてきたので先を譲るが、谷嶋さんのスノーシューの後のワカンでは潜っていて大変そうだった。二回目の休憩は十文字池(727m)。新潟山岳会の方々と一緒に休憩。谷嶋さんがお話を伺うと、20 代が三名も！



トップありがとうございます！

この先は新潟山岳会の方々がトップを代わってくださり、ペースも私にちょうど良く、のんびりと登っていった。そして西俣ノ峰(1023m)には凄い量のデポがあり、新潟山岳会の方々はここで泊まるとのこと。今日は大宴会に違いない。良いなあ。我々は先へ。

快適な尾根が続く。空は晴れ間も見えたが、次第に雪となる。今日は大汗をかいてしまったので、左膝の上が攣りそう。谷嶋さんから芍薬甘草湯をいただき治まる。枯松峰(1184m)付近は雪原で地形も複雑。赤布、赤旗を付けながら進む。今日の幕場予定地はこの付近であったが、もう少し先へ進む。大ドミ(1240m)の広い雪原でもう少し進むか迷ったが、私はへろへろに疲れていたのでここで幕とする。

久々のテント泊。夕食は悪魔のスモークカルボナーラ。(フライパンで水分を飛ばすので、テント内ではやってはいけま

せんでした。)あれだけ悩んだお酒は焼酎 280ml と黒ビール 350ml 一本。ビールは重すぎるので一泊目で空けてしまった。明日は良い天気になるはず。どこまで進めるだろうか。明日は頼母木小屋には寄らず、門内小屋までを目標とする。

【コースタイム】梅花皮山荘(8:20)～除雪終了地点(8:30)～取りつき(8:45)～西俣ノ峰(12:00)～枯松峰(13:00)～大ドミ(14:00)幕



疲れました・・・。

12月30日(土) 風雪のち快晴

4時起床。夜は温かく快眠。朝食のホットサンドは早くできるし食べやすく、なかなか良い。6時過ぎに出発。

風雪の中、デポ地点の三匹穴(1470m)付近を目指す。寒いかと思い厚着で出発したが、登っている



頼母木山

うちに暑くなり、薄着になる。デポのコンテナと赤旗の束を発見。荷分けするかと思いきや、谷嶋さんがコンテナまるごとザックに入れたのでビックリ!!! 5kg あるんじゃないかと思ったっけ? 私は赤旗だけ・・・。三匹穴付近は地形が複雑で、視界が良くないので難しい。一瞬うっすらと尾根が見えたので、小さな谷を渡り、西側の尾根に乗りなおす。視界が悪いのでどこに登っているのかイマイチわからない。急に風が強くなり、主稜線に乗ったと感じる。真っ白な丘に登れば、

そこが頼母木山。何も見えない。風が寒いので休憩せず門内方面へ。

視界は悪いが、稜線上は夏道がうっすらと分かるので迷わない。風が強く、薄着になってしまっていたので寒い……。地神山北への登りの途中、初めての休憩。ここまで3時間。谷嶋さんは荷物が重くて大変そうだ。寒いので休憩は短めですぐに出発。地神山北(丸森尾根分岐)の先、地神山(1849.5m)に登ってしまえば、あとは緩いアップダウンが続く。風は相変わらずで視界も悪い。時折空が明るくなりいよいよ晴れるのかと期待するが晴れない。

門内小屋には11時半着。冬季入口は凍り付いていて開かないかと思ったが、なんとか開いた。入口は窓なので、床から高い位置にあるが、窓の高さに踏み台が設置されており、とてもありがたい。まずは風が無い中で落ち着いて休憩。目標は達成したのでひとまず安心。しかしまだお昼前。梅花皮小屋まで行っちゃいましょう！デポのコンテナからこの先3泊分の食料だけ抜き取り、残りは門内小屋にデポさせていただく。お腹を満たし、パッキングも済ませて外を見ると、天気は急激に回復中。これは日焼け止めとサングラス必須ですね！

門内小屋のすぐ目の前が門内岳。だだっ広い尾根進むと、北股岳への緩やかな登りとなる。陽射しを感じるものの視界は晴れない。登っているうちに次第に空の青が広がっていく。振り返るとガスが流れて、主稜線が見え始めている！主稜線から流れ落ちるガスに陽が射し、虹が見える。前後左右、写真撮りまくりで登っていく。こんなに晴れるなんて、みんな来れば良かったのに～。もはや天国。緩い登りが終われば北股岳。大日岳の存在感が凄い。この素晴らしい展望をいつまでも眺めて居たいが、風が寒い。名残惜しく、眼下の梅花皮小屋に向けて出発。

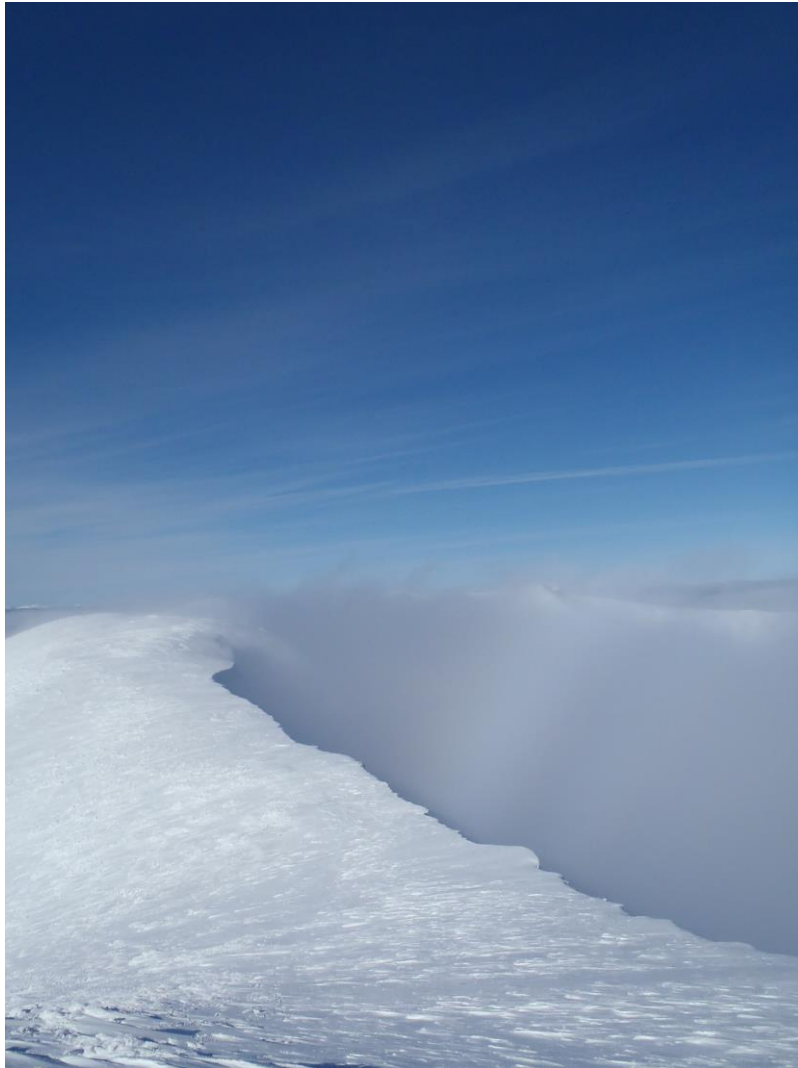


門内小屋



北股岳へ





振り返ると虹



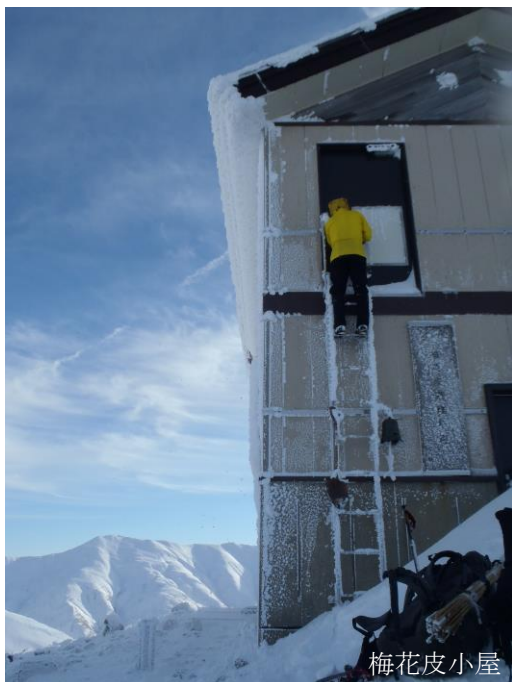
山頂はもうすぐ



北股岳山頂



梅花皮小屋が見える。本山から大日までも。



梅花皮小屋の冬季入口の下は、雪が吹き溜まっておらず、高いハシゴを登って脇の小さな入口に潜り込むのが結構怖い。小屋の中はとても綺麗で感激する。一階に降りてみると、トイレがあるではないですか！なぜか雪がこんもりとなっていたが、谷嶋さんがスコップの柄で貫通させてくれたので、無事使用できるとのこと。良かった。

小屋内に TENT を張り、火を付ければ暖かい！谷嶋さんが持ってきてくれた重いハンバーグを美味しくいただく。小屋だから TENT 内に傾斜もなく、不要な荷物は TENT 外に散らかし放題なので、広くて快適だ。今日は結構な距離を歩いてしまった。このまま良い天気が続くのであれば、明日は本山小屋に行けそう。本山から三国～川入に行くより、大嵩尾根を下降でも良いのでは(でも最後の渡渉がどうか)とか、色々話してはみるものの、『頑張れば』行けるかも、なので、頑張らなかったらマズいし、良い天気は続かない。最終的に、やはり

計画通りくさいぐら尾根を下ろうということで決着。明日の午前中、なんとか動けそうなら、下山にかかることにする。主稜線から降りてしまえば、多少天気が悪くともなんとかなるでしょう。朝のうちはガスが出やすくその後疑似好天という予報なので、視界が無ければ停滞し、1月2日の好天を待つということに決める。小屋は出入り口の扉を開ければ電波がバッチリだが寒すぎる。出口近くの窓際で頑張るとなんとか通じる。下界と連絡が取れるというのは安心だ。扉からは夕焼けの北股岳と米沢盆地？まで見える。夜は満点の星空。流れ星が見えるまで顔を出して粘りたかったが、寒すぎて断念する。



【コースタイム】大ドミ(6:10)～三匹穴付近でデポ回収(6:55)～頼母木山(8:30)～丸森尾根分岐(9:30)～地神山(10:00)～門内小屋(11:20-12:10)～北股岳(13:40)～梅花皮小屋(14:00)

12月31日(日) 曇り(ガス)夕方から雪？

4時起床。6時前には TENT を畳みパッキングも済ませ準備万端。明るくなるまで待機する。明るくなるとガスが酷いのが分かる。まあもう無理だと思うが8時まで待機。停滞と決まり、また荷物散らかし放題で TENT を立てる。

ここにもう二泊するのか……。暇つぶしグッズも酒もないので、とりあえず音楽を流しながら寝る。寝るのにも飽きたら水作りを始める。その後は谷嶋さんは酒を呑み始めていたが、私は一瞬で終わる量しか持ってきてないので明日まで我慢。グダグダと時間をつぶす。今日は大晦日なので兎と辰のかまぼこ入りの年越しそば。ラジオは FM しか入らず、NHK-FM でも紅白をやると期待していたが、バイロイト音楽祭とかでワーグナーが流れていた……。ので、早めに就寝。



## 1月1日(月) 雪

時間を決めず適当に起床。7時頃だったろうか？昨日から寝すぎて頭がイタイ。

今日は元旦なので、谷嶋さんのこれまた重い昆布巻きをお昼頃いただく。おしゃべりしていたら昨日より時間が進むのが早い。私もいよいよお酒少々を呑みだし(すぐ無くなりました・・・)、メロンゼリー(超冷えてる)など作ったりして正月らしく？過ごす。

夕方、ラジオから緊急地震速報が流れ、地震！これはかなり大きな地震がどこかで起こったと思ったら、津波の避難を呼びかける強い口調が続く。能登は大変なことになっているようだ。少し落ち着いてから、家族や会に無事を知らせる。

なんだか気持ちが落ち着かないが、明日は下山。頑張ろう。

## 1月2日(月) 曇りのち晴れ

4時起床。視界が良くなさそうなので少し待って6時半出発。雲の切れ間から朝焼けも見える。意外ともう天気は良いかも！

あまり視界は良くないものの、順調に登っていける。振り返ると朝焼けの素晴らしい景色が一瞬見えたが、すぐにガスってしまった。ウン万円した地獄ゴーグルは快適！凍らないから視界はクリアで温かい。視界が無いまま梅花皮岳。少し下って少し登れば烏帽子岳。早い。また少し下り、くさいぐら尾根の分岐を確認しつつ進むと、右手に主稜線がうっすらと見え、分岐が確認できたので、少し休憩。主稜線からほんの少し離れただけで風が弱く、落ち着いて休憩できた。あとは下るだけ。午後は天気が崩れるそうなので、せめて飯豊山荘まで下りたいと思う。

くさいぐら尾根は、しばらく広く快適な尾根が続くのでサクサク進む。そして天気がどんどん良くなっていく。5日間で2回も晴れるなんて、ツイてる！眼下に広がる山々を眺めながらの快適な稜線散歩となる。このまま超サクサク行けたら、すごく早く降りられそう！1777m付近の急な下りを終え、さらにその下の急斜面は雪が硬くツボ足で下る。この辺りから快適な稜線散歩が、不愉快な細い藪尾根の歩きとなっていく・・・。1310m付近で休憩。振り返れば主稜線まで綺麗に見えている。今日なら本山まで歩きましたね。



良い天気で暑いので超薄着にし、日焼け止塗りまくり。もはや春山。雪の少ない細い藪尾根に辟易しつつ末端に降りたのは14時。疲れました・・・。ここからはひたすらの林道歩き。雪はあまり沈まないの谷嶋さんは快適に歩いていくが、私はなぜか潜り気味で(体重差か・・・)歩きにくく、疲れも相まってだんだん間が開いてしまう。歩く距離は、松ノ木尾根を降りてからいいでの湯までに比べたら短いはずだが、思ったよりも長い。梅花皮荘が見えてからもなかなか着かず、疲労困憊で車にたどり着く。(最後の橋が渡れるのかどうか知らなかったの、ドキドキしてしまった。)ぎりぎりヘッデンにならずに済んで良かった。さすがの谷嶋さんもお疲れの様子。最後までトップをやっていただきありがとうございました。



くさいぐら尾根上部を振り返る

そして、梅花皮荘で冷え切った体を温めてから帰路についたのでした。

【コースタイム】梅花皮小屋(6:30)～梅花皮岳(7:05)～烏帽子岳(7:40)～くさいぐら尾根分岐(7:50-8:00)～1330m 付近(9:40-10:00)～1088.4m の先(11:10-30)～816m(12:40-50)～橋(14:00-10)～飯豊山荘(14:45)～飯豊梅花皮荘(16:45)

### ★増田の感想★

今回は雪が少なく、天気の良い日もあったので、予定通りのルートを歩いてラッキーでした。(谷嶋さんに『おんぶに抱っこ』状態ではありましたが・・・)直前にトレーニングもほとんどできてない割にはよく歩けたなあと自画自賛しています。

デポから谷嶋さんに任せきりで申し訳なかったです。次の冬合宿は、秋からデポもトレーニングも入念に計画・準備して挑みたいと思います。皆さんも一緒に行きましょう！

